

児童劇団員らも熱演 脇町劇場で芝居公演

東映太秦映画村スタッフによる芝居公演『姫と風来坊』（市、市観光イベント実行委員会主催）が、7月16日から3日間、脇町劇場で開かれました。計6回の公演に市内外から約1,200人が詰め掛け、主役の芦屋小雁さんや荻マキさん、脇町出身の西原明美さんらが演じる人情時代劇を楽しみました。

物語は、江戸時代の脇町の旅館を舞台に、脇城の姫君と小雁さんふんする風来坊が、藍の抜け荷で私服を肥やす悪徳奉行を退治するといった内容。迫力ある太刀さばきや、生き別れになった親子の心情を語るシーンなどが演じられました。せりふの中には「戸がめげとる」「おげを言いよる」など地元の方が随所で使われ、観客の笑いをさそいました。



▲元気いっぱいの演技を見せた児童劇団員ら



また、脇町劇場を拠点に結成された児童劇団『うだつげきだん寺子屋』（長岡謙代表、35人）のメンバーが町の子役で、元気いっぱいの演技を見せたほか、田中敦子さん（西上野南）と角野輝子さん（西ノ久保）が阿波踊りに合わせた三味線の演奏を披露しました。

友人4人と見に来た松本幸江さん（伏飛）は「芝居公演は毎年楽しみにしています。子どもたちのかわいい演技も見ることができて、感動しました」と目を細めていました。

大勢のボランティアが参加 河川一斉清掃

河川愛護月間の7月、美馬市でも「みんなで川の環境美化に努めよう」と、3日に吉野川北岸・南岸堤防と穴吹川周辺で一斉清掃が実施されました。

午前7時から始まった清掃には、吉野川に2,077人、穴吹川に352人の計2,429人が参加。小雨が降る中、かさを持ったり、レインコートを身につけた参加者は、河川の周辺に捨てられた空きカンや紙くずなどを拾い集めました。収集場所にはたくさんのゴミ袋が持ち寄られ、その場で正しく分別されました。

大勢のボランティア清掃で、輝きを増した両河川。美しい川は、私たちみんなで守っていきましょう。

▶吉野川北岸堤防
(別所浜地区周辺)



▶穴吹川左岸堤防
(畑中地区周辺)

